

第3回セミナーの御案内

◆日時：2009年09月10日（木）13：30－17：00

◆場所：名古屋大学工学研究科9号館911講義室
(右図参照, 名城線名古屋大学駅2番出口より徒歩5分)

◆話題提供：

鷺見 哲也 氏（大同大学准教授）

「平成20年8月末豪雨の伊賀川災害調査
～ゲリラ豪雨災害から考えること～」

瀧 健太郎 氏（滋賀県河港課/流域治水政策室）

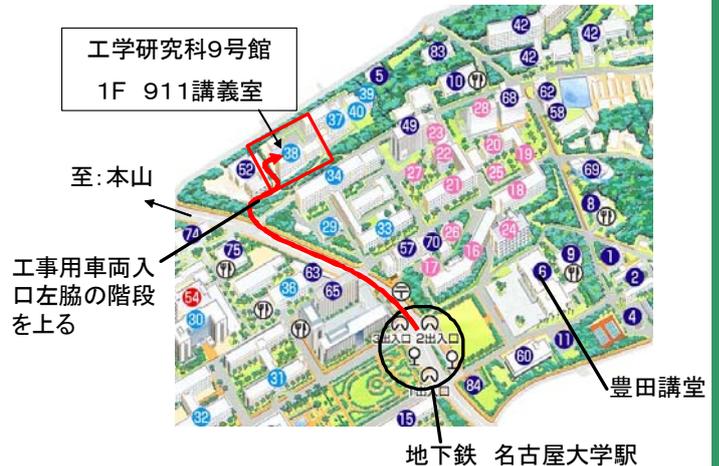
「水害に対する地域防災力の要因分析」

奥 信二 氏（愛知県河川課）

「防災対応～河川情報周知戦略（愛知県）～」

◆総合討議：

テーマ「（仮）伊勢湾台風50年に当たって」

◆申込方法：E-mail (d42882a@cc.nagoya-u.ac.jp) かFAX (052-789-3727) にて、
件名に「水防災セミナー申込」と記載し、【氏名・所属先・連絡先】をお知らせ下さい。

開催趣旨説明

行政主導での「水防災」関連の委員会はありますが、学主導での研究会があまりなかったと気づいたことが、セミナー開催の原点です。行政主導のなかで、学がファシリテーターとしてさまざまな貢献してきたことは確かですが、より学術的課題としての系統化などが求められています。また、今年は、伊勢湾台風50年ですが、学からの問題提起はありうるのでしょうか。一方、基本方針策定も一段落し、治水計画についてもさまざまな課題がクローズアップされたし、実際にはそれが、防災計画や危機管理と結びつかなければならないという認識も強くもたれるようになってきましたが、必ずしも接点の捉え方・対応についての議論が十分ではありません。さらに、ゲリラ豪雨などかたちを変えた「超過」外力も課題の中に入ってきたようです。

本セミナーは、こうした課題を踏まえ、参加メンバーによるプレゼンを中心とし、水防災問題研究の課題の系統化(TNT*1, ゲリラ豪雨, 地球温暖化適応策などさまざまなキーワードをもとにした系統化)の議論、今後の研究会の進め方やシンポジウムの開催などを話し合う機会としたいと思います。

セミナーはオープンですので、興味ある方の参加と議論への参加を期待しています。

*1..東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会

名古屋大学大学院
辻本哲郎

前回の研究会

☆第2回 水防災セミナー

日時：2009年06月02日（火）13:30－17:00

場所：名古屋大学VBL 3階ベンチャーホール

議題：

①話題提供

1. 趣旨説明 辻本哲郎 教授(名古屋大学)

2. 「ゲリラ豪雨災害にみるこれからの防災」
片田敏孝 教授(群馬大学)

3. 「水防災研究の系統」 辻本哲郎 教授(名古屋大学)

②総合討議 「水防災の研究課題の抽出と系統化」

参考HP：<http://chubusaigai.jp/seminar.htm>

連絡先

名古屋大学大学院工学研究科
社会基盤工学専攻流れ・地形解析学グループ
流域保全学グループ内 中部地区自然災害資料センター事務局

TEL:052-789-4628 FAX:052-789-3727

中部地区自然災害科学資料センターURL:
<http://www.chubusaigai.jp/index.htm>